

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社グローバルキッズ  
グローバルキッズあざみ野園

平成29年 3月 3日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

# 目次

## 評価結果総括

■ 評価方法	1
■ 総合評価	2
■ 評価領域ごとの特記事項	5
人権の尊重	
意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供サービス	
サービスマネジメントシステムの確立	
地域との交流、連携	
運営上の透明性の確保と継続性	
職員の資質向上	

## 分類別評価結果

■ 利用者本人（子ども本人）の尊重	8
■ サービスの実施内容	11
■ 地域支援機能	15
■ 開かれた運営	16
■ 人材育成、援助技術の向上	17
■ 経営管理	18

## 利用者本人調査

■ 利用者本人調査結果	19
-------------	----

## 家族アンケート結果

■ アンケートの概要	23
■ アンケート結果	24

## 事業者コメント

■ 事業者からのコメント	29
--------------	----

## 評価結果総括

---

法人名 株式会社グローバルキッズ  
事業所名 グローバルキッズあざみの園  
施設長名 松本 みどり

### □ 評価方法

#### 自己評価方法

実施期間 平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 12 月 8 日  
実施方法 全職員が合議して自己評価を実施し、施設としてまとめた。

#### 評価調査員による評価方法

実施日 平成 29 年 2 月 13 日、平成 29 年 2 月 15 日  
実施方法 評価調査員が訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

#### 利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 28 年 11 月 20 日～平成 28 年 12 月 11 日  
実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関に郵送してもらった。

#### 利用者本人調査方法

実施日 平成 29 年 2 月 13 日、平成 29 年 2 月 15 日  
実施方法 訪問調査時に保育見学、食事や活動場면을観察して行った。

## □ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

### 〔施設の概要〕

グローバルキッズあざみ野園は、平成 26 年 4 月に開設した 0 歳児から 5 歳児を対象とした、定員 60 名の横浜市認可保育所です。

園は東急田園都市線、市営地下鉄あざみ野駅より徒歩 5 分ほどの住宅地にあります。駅から園に向かう道では富士山や丹沢の山並みが望める、緑が多い住宅街にあります。近隣には大小さまざまな公園が点在しており、子どもの発達や体力に合わせて、日々散歩コースに取り入れ季節を感じ運動能力を高めています。

設置法人は 2006 年設立の株式会社グローバルキッズで、「子ども達の未来のために」という企業理念の下福祉サービスを展開し、保育士を中心に栄養士や看護師等職員が 1 つになって保育に取り組む「チーム保育」を実践しています。

### 《優れている点》

#### 1. 子どもたちは園外活動によりさまざまな経験を通して成長しています

園の周辺には幾つもの整備された公園があり、園周辺の散歩では富士山や遠くの山並みが望め、自然に恵まれた環境の中で保育が行われています。緑豊かな公園では、春には桜の花が咲き、夏にはセミの音が聞こえ、秋にはたくさんの落ち葉に囲まれ、子どもたちは身近で四季の移り変わりを感じることができています。

また、日々の散歩ではすれ違う地域の方々とふれあう機会にもなっています。子どもたちが家の前を通るのを楽しみにしている方もいます。子どもたちは「おはようございます」「こんにちわ」と元気な挨拶をしています。公共の交通機関を利用しての遠足にも行っています。

地域の高齢者施設の方との定期的な交流の場を設けています。消防署見学や地区センターの図書館等、地域の施設も活用しています。他保育園との交流も行っています。

積極的な園外活動を行い、自然や地域と関わるさまざまな経験を通して、子どもたちは豊かな感性や社会性を身に付けています。

## 2. 利用者本人を尊重し一人一人を大切にされた保育が行われています

園の保育理念は、『豊かに「生きる力」を育てる』とし、『思いやりのある子ども』『自分で考える子ども』『元気でたくましい子ども』『明るくのびのびした子ども』を保育目標にしています。また、保育方針の『子どもを中心にした』保育が実践されています。

毛糸や菓子箱、牛乳パックなどの廃材を利用した制作活動やわらべ歌に合わせた昔ながらの遊びなど、子どもの事を考え工夫を凝らして保育活動や栽培活動を行っています。3歳から5歳の異年齢活動の一環で行われたお店屋さんごっこは、子どもたちがいろいろな作品を作り「お店屋さんをしたいな」と言う子どもからの提案で行っています。

子どもが興味を示したことを指導計画に反映しています。自然のものを活動に取り入れ、創作活動に使う機材を自由に選べるようにして、子どもが遊びの中で活用方法や遊び方を発展・工夫できるように保育士が適切にアドバイスをしています。乳児の食事もワンプレートではなく、茶碗、汁椀、おかず皿など幼児と同様に提供しており、乳児であっても個人として人格を尊重した保育を行っています。計画に子どもを合わせるのではなく、どうしたら子どもがのびのび育つかを大切に計画を作っています。

## 3. 園全体でチーム保育を実践し小規模園の良さを発揮し異年齢での活動も活発です

職員は、「チーム保育」実践のため、看護師や調理担当職員も専門の立場から会議で積極的に意見を出し合っており、職種に関係なく日々協力、連携しています。異年齢活動（3～5歳児）では子ども同士の自然なかかわり合いによって協力し刺激し合い成長することを目指しています。

保育士は職員会議などで理念の確認をし、方向性を共有して保育にあたっています。小規模園の良さを活かし子ども一人一人の個性を大事に、一人一人が主体的に物事にかかわれるようにすることに力を入れた保育が行われています。

5歳児が午睡をしなくなってきたからは、その時間を年齢に関係なく各保育士が担当し各保育士の得意分野で運動や制作などを計画的に行っています。この様に全職員で子どもたちの育ちを見守っています。子どもたちも園生活の中で、小さな子どもが階段を昇る時は「手をつなごう」と声をかけたり転んで泣いている子どもには「大丈夫？」と手を貸して起き上がりを助けたりしています。

異年齢での合同散歩では途中で靴が脱げた子どもがいると、声をかけあって皆で立ち止まり、子どもが靴を履くのを手伝ったり、上着のファスナーが上手く上げられない子には年上の子が閉めてあげる姿が見られました。

## 《課題や改善することが期待される事項》

### 1. 園の専門性を活かし、地域の子育て家庭の支援になお一層取り組まれることを期待します

園では現在、地域のニーズが高い一時保育の受入れを行っています。特に0～2歳くらいの年齢で多くの利用者がいます。保育園の見学の際には保護者から子育ての相談を受けることもあります。しかしながら、当園は、開所から日が浅く、いままで在籍する子どもを第一に考えていたので、園庭開放や施設開放の実施は積極的に取り組まれていない状況です。

今後は園の給食や園での遊びを知っていただく体験保育の取り組みや保育士によるわらべ歌の講座などを検討しているとのことですので、可能な範囲で実施されることを期待します。さらに今後は、園の専門性を活かし、出張保育や育児講座の実施、子どもの絵本や保護者向けの子育てに関する図書の貸し出しなど、できることから検討し、実施されることを期待します。

### 2. 継続して職員のスキルアップに取り組まれることが望めます

職員は、毎年計画的に、園内外の研修に出席し保育の質の向上を心掛けています。受講した研修の内容などは資料とともに報告書で回覧し、職員間には周知されていますが、それを実践しどのように日常の保育に取り組んでいけばよいか発表する機会を設ける事が難しいようです。

園では、多くの職員が参加できるように園内研修を取りいれたいと考えていますので、ミーティング以外にも研修についての時間を設けられるように検討されることが望めます。

## □ 評価領域ごとの特記事項

### 1. 人権の尊重

- ① 保育理念、保育目標、保育方針、保育方法さらには施設運営方針において、子ども本人を尊重しています。職員は保育理念等を理解しており、保育課程は職員の参加のもとに、子どもの利益を第一にして作成しています。理念、方針に沿って保育を実践するために、園の保育目標を「楽しく活動し生きる力の基礎を養う」「様々な経験を通して豊かな人間性を育てていく」「保育園と保護者が相互理解をしてもともに子育てをしていく」と定めています。年齢ごとの保育目標も設定し、年間指導計画に明記しています。
- ② グローバルキッズの保育の特徴を保育士個人のスキルや努力に依存する保育スタイルではなく、保育士、看護師、栄養士などさまざまな専門家が一つのチームとして取り組む「チーム保育」としています。入社前に基本方針を理解するための導入研修を実施しています。職員会議時には法人のクレドを唱和しています。
- ③ 年間指導計画を基に、月間指導計画、週日案を作成し年齢ごとのファイルにしています。年齢ごとのつながりを重視して、次の段階の子どもの成長を見据えて計画を作成できるようにしています。職員は、子どもが自分で考えることを見守る姿勢を常に持ち、自ら意見を言える雰囲気や気持ちを引き出すよう努めています。子どもの意見や興味を取り入れ、計画はあくまでも計画として柔軟性を持たせています。

### 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 0～2歳児は月間個別計画を作成しています。毎月クラス担任が中心となり、クラス会議で話し合い翌月のねらいと配慮を検討し計画を作成しています。個別の目標は子どもの発達に合わせて随時見直しを行っています。特に個人差のある離乳食やトイレトレーニングなどについては送迎時の保護者との会話や連絡帳などを通して相談しながら保育を進めています。3～5歳児クラスでも配慮の必要な子どもに関して月間個別指導計画を立てています。送迎時の会話、また、月ごとや必要時に保護者と面談を行いながら子どもの状態に合わせて計画を見直して保育を進めています。
- ② 入園後の子ども一人一人の成長の記録は期ごとに児童票の育成記録に記載しています。0歳児は毎日個人日誌を付けています。保護者から得た子どもや家庭の状況や要望も同じく児童票に記載されています。身体測定や健康診断の記録も児童票に綴り、事務所の鍵の付く書棚に保管しています。職員は必要時に見ることができるようになっています。

### 3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 園では、意見箱を設け、運動会や夏祭りの行事の時にはアンケートを実施し要望や意見を把握するよう努めています。自分から意見を表明することが困難な保護者には出来るだけこちらから声をかけ、話しやすい雰囲気作りを行い、育児などの悩みを受けとめるように配慮しています。

- ② 各保育室は通風、採光良好で、園舎、園庭とも清掃が行き届き、清潔に保たれています。保育室はマニュアルに基づいて、毎日保育士が清掃し、ローテーションでクリーンチェック表に基づいて清掃しています。おもちゃも消毒しています。トイレも定期的に清掃していますが、汚れた時にはその都度清掃しています。園内は清潔で、職員が加湿機能付きの空気清浄機の設置や24時間換気など過ごしやすい環境をつくっています。睡眠チェック表に温、湿度を記入し、適切に管理しています。0～2歳児の保育室がある1階には温水が出る沐浴設備があります。また、1階と2階にはシャワールームを完備しています。園庭にもシャワーがあります。清掃は使用の都度行っています。
- ③ 年2回の運営委員会で保護者代表からも要望を聞いています。また、日々の送迎時の保護者と職員との会話や連絡ノートなどでも要望などを聞き、保護者と保育園の信頼関係を構築しています。苦情、要望はその都度すぐに話し合い対応しています。またその都度本社に報告し整理し、解決に活かしています。なお、改善したことは「園だより」や玄関前に掲示してお知らせしています。園の相談・苦情受付担当は園長、解決担当は設置法人の保育事業部とし、第三者委員2名の氏名を「入園のしおり」に明記し、玄関にも掲示しています。苦情を受け付けた場合の対応は会社の保育事業部や第三者委員を交えて対応する仕組みが構築されています。園のみで対応できない苦情は、青葉区こども家庭支援課と連携して対応する仕組みになっています。
- ④ 0～2歳児は月間個別計画を作成しています。毎月クラス担任が中心となり、クラス会議で話し合い翌月のねらいと配慮を検討し計画を作成しています。個別の目標は子どもの発達に合わせて随時見直しを行っています。特に個人差のある離乳食やトイレトレーニングなどについては送迎時の保護者との会話や連絡帳などを通して相談しながら保育を進めています。3～5歳児クラスでも配慮の必要な子どもに関して月間個別指導計画を立てています。送迎時の会話、また、月ごとや必要時に保護者と面談を行いながら子どもの状態に合わせて計画を見直して保育を進めています。

#### **4. 地域との交流・連携**

- ① 青葉区のこども家庭支援相談、ネットワーク通信などと連携し地域サービスに対応しています。園庭開放、一時保育、交流保育を積極的に推進しています。園行事へのお誘いをポスターなどで知らせています。福祉専門学校や大学からの実習生を本部経由で受け入れ次世代の人材育成に努めています。
- ② 実習生の受け入れマニュアルを備え本部経由で実習生の受け入れをしています。オリエンテーションで守秘義務などの注意事項を伝達の上で実習をお願いしています。ボランティアの受け入れは、マニュアルを作成して実施しています。保護者の中からピアノ演奏や習字の指導をボランティアとしてお願いしています。

#### **5. 運営上の透明性の確保と継続性**

- ① 保育園の行事に、卒園児や一時保育の親子、老人福祉施設の方々を招待しています。保護者の方からピアノ演奏や習字の指導のボランティアを受けています。園庭開放や他の園との交流を盛んに進め保育園の理解を深める取り組みを行っています。地区の図書館を頻繁に利用しています。区のイベント「なしかちゃん広場」などへの参加、他園との交流、ネットワーク通信など地域との日常的に子どもの生活の充実と地域の理解を深める努力をしています。

- ② 保育園のパンフレット、広報誌やホームページで園の情報を発信しています。また区のパネル展に参加するなど将来の利用者が関心のある事項についてわかりや情報の提供に努めています。園児への悪影響を避ける目的で保育園の見学の日を定めていますが、園長を窓口にして保護者の都合に合わせるなどの柔軟な対応もしています。見学者には質問や相談に応じる懇切丁寧に説明をし、見学者が理解するようにしています。また、入園前個人面談を行い希望や要望の把握に努めています。

## 6. 職員の資質向上の促進

- ① 内部研修で看護師から感染症予防や嘔吐処理の研修を定期的を受けています。職員は担当があるものの園全体で園児を観て保育する仕組みで運営しています。非常勤職員にも正規職員と同じ働き方を要求し園長とパート会議を年に10回ほど開催し働きやすさ、困っていることの相談を受けています。その内容は職員会議で共有を図っています。目標管理制度を採用しています。職員は年度目標に対し2ヶ月ごとに振り返り月報を提出しています。
- ② 年に2回の人事考課があり園長とフィードバック面談でアドバイスや指導を受けています。所内研修や外部研修で職員のスキルアップを図っています。階層別研修を本部で企画し該当者に研修を受けさせる仕組みになっています。幼児組は縦割り研修でアートを取り入れ、月に1回系列の保育園で研修を受けています。非常勤職員にも保育士を受験するためにサポート体制を整えています。

## 分類別評価結果（および理由）

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

### I 利用者本人の尊重

#### I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 理念、方針に沿って保育を実践するために、園の保育目標を「楽しく活動し生きる力の基礎を養う」「様々な経験を通して豊かな人間性を育てていく」「保育園と保護者が相互理解をしてもに子育てをしていく」と定めています。年齢ごとの保育目標も設定し、年間指導計画に明記しています。グローバルキッズの保育の特徴を保育士個人のスキルや努力に依存する保育スタイルではなく、保育士、看護師、栄養士などさまざまな専門家が一つのチームとして取り組む「チーム保育」としています。入社前に基本方針を理解するための導入研修を実施しています。職員会議時には法人のクレドを唱和しています。
- ② 毎年、年度末に次年度の計画策定に向けて保育課程の見直しをしています。保育課程は法人主体で作成しています。園の子どもの年齢ごとの発達に一貫性があるか、保護者の状況、周囲の環境に即しているかなど、見直しをして、必要があれば修正しています。
- ③ 年間指導計画を基に、月間指導計画、週日案を作成し年齢ごとのファイルにしています。年齢ごとのつながりを重視して、次の段階の子どもの成長を見据えて計画を作成できるようにしています。職員は、子どもが自分で考えることを見守る姿勢を常に持ち、自ら意見を言える雰囲気や気持ちを引き出すよう努めています。子どもの意見や興味を取り入れ、計画はあくまでも計画として柔軟性を持たせています。
- ④ グローバルキッズとしての企業理念「子ども達の未来のために」、保育理念「豊かに生きる力を育てる」を掲げています。保育方針は、子どもを中心に据え、子どもの安心と安全を基本として、子どもの主体的な活動を育むための保育園作りを目指しており、利用者本人を尊重したものになっています。

#### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 入園前の3月に保護者と個人面接を行っています。面接シートのほか、記入していただいた児童票を基に面接しています。
- ② 同時に親子の関わり方や子どもの遊びの様子など観察しています。入園までに健康面、アレルギー、保育時間など必要最低限の情報は把握しています。情報は児童票に記録管理し、全職員で共有しています。慣れ保育の必要性を保護者に説明し理解を得て保護者の事情や子どもの様子にも配慮して期間を決め実施しています。
- ③ 0、1歳の新入園児に対しては主担当を決めています。保護者に対して0～5歳児までクラスは個別連絡帳があります。

- ④ 3～5 歳児クラスは玄関のホワイトボードでその日の様子を伝え、園生活が家庭に引き継がれるよう配慮しています。在園児に対しては、複数担任の場合は一人が持ち上がり、進級の 1 ヶ月くらい前から進級するクラスの子どもを訪問したり保育室も進級するクラスに移行するなどして、新しい環境に慣れやすいようにしています。新入園児は慣れ親しんでいるタオルや小さなおもちゃを持ち込んでよいことにしています。
- ⑤ 保育課程に基づき、年齢ごとの年間指導計画、月間指導計画、週案日案を作成しています。月間指導計画は担任が作成し、評価見直しを行っています。毎月の職員会議の中でも検討し、必要に応じて園長が助言しています。
- ⑥ 食事・睡眠・排泄などについては面談や送迎時に保護者と話し合ったり、連絡ノートでやりとりしたりして利用者の意向を尊重して行っています。

### I-3 快適な施設環境の確保



- ① 各保育室は通風、採光良好で、園舎、園庭とも清掃が行き届き、清潔に保たれています。保育室はマニュアルに基づいて、毎日保育士が清掃し、ローテーションでクリーンチェック表に基づいて清掃しています。おもちゃも消毒しています。トイレも定期的に清掃していますが、汚れた時にはその都度清掃しています。
- ② 園内は清潔で、職員が加湿機能付きの空気清浄機の設置や 24 時間換気など過ごしやすい環境をつくっています。睡眠チェック表に温、湿度を記入し、適切に管理しています。
- ③ 0～2 歳児の保育室がある 1 階には温水が出る沐浴設備があります。また、1 階と 2 階にはシャワールームを完備しています。園庭にもシャワーがあります。清掃は使用の都度行っています。
- ④ 1 階の階段下に、基地と呼ばれているスペースがあり、おままごと道具や子どものいすがあり子どもに人気の部屋となっています。また、事務室横のスペースもカーペットを敷いてお絵かきコーナーを作るなどで子どものお気に入りの空間を確保しています。時間差はありますが、毎日異年齢の交流の場となっています。2 階ホールでは毎月全園児でお誕生会を開催しています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ① 0～2 歳児は月間個別計画を作成しています。毎月クラス担任が中心となり、クラス会議で話し合い翌月のねらいと配慮を検討し計画を作成しています。個別の目標は子どもの発達に合わせて随時見直しを行っています。特に個人差のある離乳食やトイレトレーニングなどについては送迎時の保護者との会話や連絡帳などを通して相談しながら保育を進めています。
- ② 3～5 歳児クラスでも配慮の必要な子どもに関して月間個別指導計画を立てています。送迎時の会話、また、月ごとや必要時に保護者と面談を行いながら子どもの状態に合わせて計画を見直して保育を進めています。
- ③ 入園後の子ども一人一人の成長の記録は期ごとに児童票の育成記録に記載しています。0 歳児は毎日個人日誌を付けています。保護者から得た子どもや家庭の状況や要望も同じく児童票に記載されています。
- ④ 身体測定や健康診断の記録も児童票に綴り、事務所の鍵の付く書棚に保管しています。職員は必要時に見ることができるようになっています。

## I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① 配慮を要する子どもについては一時保育でも受け入れています。子どもたちは障害の有無に関わらず自然な関係を築いています。
- ② 園内はエレベーターを設置し、多機能トイレの設備や階段には点字ブロックを取り付けており、身体的に障害のある子どもにも対応可能なバリアフリー構造になっています。
- ③ 外国にルーツがある、文化や生活習慣、言語の異なる家庭の子どもを受け入れる際は、面談により互いの理解を深める努力をして、子どもが園生活をスムーズに送れるよう配慮しています。言葉の違いから意思の疎通が難しい場合は、身振り手振りで工夫したり、通訳のできる方をお願いするなど、誤解が生じないように伝える工夫を行っています。
- ④ 虐待に関するマニュアルがあり虐待の定義について職員会議で周知し、全職員が認識しています。衣服の着脱時には小さなあざやキズに関しても注意して気になる場合は看護師に伝え確認しています。職員会議で保護者の情報も共有しており、気になる保護者には担任だけでなく園全体でフォローしていく姿勢があります。
- ⑤ 保護者との入園前面接でアレルギーについての情報を得て、除去食申請に対する主治医意見書を提出してもらい、それに沿って適切に対応しています。外部研修で得た食物アレルギーに対する知識や対応は職員間で周知しています。
- ⑥ 食物アレルギーのある子どもには専用のトレイや食器を用意し、除去食品を記載し誤食のないようにしています。小さい子どもには保育士が付き、机を別にして提供しています。

## I-6 苦情解決体制



- ① 園では、意見箱を設け、運動会や夏祭りの行事の時にはアンケートを実施し要望や意見を把握するよう努めています。自分から意見を表明することが困難な保護者には出来るだけこちらから声をかけ、話しやすい雰囲気作りを行い、育児などの悩みを受けとめるように配慮しています。
- ② 年2回の運営委員会で保護者代表からも要望を聞いています。また、日々の送迎時の保護者と職員との会話や連絡ノートなどでも要望などを聞き、保護者と保育園の信頼関係を構築しています。苦情、要望はその都度すぐに話し合い対応しています。またその都度本社に報告し整理し、解決に活かしています。なお、改善したことは「園だより」や玄関前に掲示してお知らせしています。
- ③ 園の相談・苦情受付担当は園長、解決担当は設置法人の保育事業部とし、第三者委員2名の氏名を「入園のしおり」に明記し、玄関にも掲示しています。苦情を受け付けた場合の対応は会社の保育事業部や第三者委員を交えて対応する仕組みが構築されています。園のみで対応できない苦情は、青葉区こども家庭支援課と連携して対応する仕組みになっています。

## Ⅱ サービスの実施内容

### Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 年齢に応じ必要な絵本やおもちゃを入れ替えています。おままごとや電車、パズル遊びのコーナー設定をしています。敷物を使ってグループや一人でも好きな遊びを十分楽しめるよう環境設定を工夫しています。パーテーションなどでコーナーを作っています。幼児のコーナー遊びは、異年齢活動の時間ではクラスの中だけではなく、園全体を使っています。子どもが自分で落ち着いて遊べる場所を自分で見つけてゆっくりと遊びこめる工夫がされています。
- ② 子どもが自由に発想できるよう環境設定を心がけ、自然な流れで「ごっこ遊び」や集団遊びにつなげていく柔軟な対応をしています。また、2歳児クラスから、ルールを守り、皆で楽しく遊べるよう、職員が言葉かけをして「色おに」や「椅子取りゲーム」などを行っています。
- ③ 保育士が必要に応じて子どもが選んで遊べるように提供するときもありますが、基本的には子どもたちが自分で自由に取り出して遊べるようにしています。そして、子どもに届きやすい場所におもちゃ、絵本等があります。乳児は職員の廃材を利用した手作りのおもちゃなどがあり、子どもの指先、手のひらの感覚を養うおもちゃがあります。
- ④ 今年度、庭の畑でイチゴやトマトやナス、キュウリなどを栽培しました。日当たりも良くたくさん収穫がありました。0歳児も園庭では作物の成長と一緒に楽しみました。またカタツムリやカブトムシの飼育もしています。オタマジャクシからカエルになるまで飼育したこともあります。
- ⑤ 周辺は住宅地の庭木や草花、点在する公園の自然など環境に恵まれています。子どもたちは、日常的な園の周辺散歩や公園遊びで四季の移り変わりを日々五感で感じ取っています。散歩時は地域の方に積極的に挨拶しています。顔なじみの方は話しかけて下さることもあります。気軽に声がかかります。その他地区センターの図書館に行ったり、消防署を見学したり、他保育園と交流したりするなど園外活動で地域や社会と関わる経験をしています。
- ⑥ 子どものトラブルはすぐ職員が介入せず、お互いの気持ちを伝えあい判ろうとする力を育てるため見守っています。うまく言葉で伝えられない子どもには職員がお互いの気持ちを代弁し、解決策を提案しています。
- ⑦ 園周辺散歩やドッジボールやボールけりができる広い公園など年齢に応じた体作りや健康増進のため毎日積極的に出かけています。夏季には園庭でプール遊び・水遊びを行っています。遮光ネットを設置、日陰を選んでプールを置くなど紫外線対策をしています。
- ⑧ 保護者からの要望や子どもの様子によっては室内で静かに過ごすなど個別に対応しています。

### Ⅱ-1 保育内容【生活】



- ① 子ども一人一人の食べる量や嗜好を把握しており、保育士が調整して「全部食べられた」という達成感を大切にしています。苦手なものは一口でも食べられるよう声かけを行って、少しでも食べられた時はほめるようにするなど援助をしています。
- ② 給食は旬の素材を多く取り入れ、彩りよく盛り付けられています。ハロウィンやクリスマス・七夕といった行事食や伝統食を大切にしています。おやつも手作りです。0歳児も赤ちゃん扱いをせず、幼児と同様強化磁器の茶碗、汁椀、おかず皿で提供しています。

- ③ 職員・栄養士・調理職員は喫食状況を確認し、調理担当職員が給食日誌に記録しています。2週間ごとのサイクルメニューのため、食材の切り方、味付け、盛り付けなど2回目に役立っています。給食会議の議題に取り上げて、子どもの食が進んだ献立や残食が多かった献立について、食事内容や食材について話し合っています。改善や献立作成について法人本部の栄養士に伝えています。
- ④ 月末に翌月の献立表を配付しています。毎日の給食・おやつサンプルを玄関ホールに展示しています。「給食だより」を毎月配付し、その月の季節行事や家庭での調理に役立つヒントなど知らせています。保護者会の時におやつを試食をしていただいています。
- ⑤ 午睡時はロールカーテンを閉めますが、暗くなり過ぎないように配慮し顔色など子どもの様子がしっかりわかるようにしています。静かな音楽をかけて入眠を誘うこともあります。眠れない子どもには横になって休息することも大事であることを伝え、他の子の迷惑にならないようにしています。0歳児クラスでは5分おき、1歳児・2歳児クラスは10分おきにプレスチェックを行い、「午睡チェック表」に記録しています。5歳児クラスまで「睡眠チェック表」にて寝ている姿勢や様子に注意しています。5歳児は就学に向けて1月から午睡をなくしています。その時間は園長をはじめ各保育士が担当しチーム保育で5歳児を卒園に向けて皆で支援しています。
- ⑥ トイレトレーニングは一人一人の発達状況に合わせて、保護者との連携を密にとりながら、負担のないように進めています。0歳児は沐浴室、1歳児はトイレでおむつを替えており、保育室内で替えることはありません。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 担任のほか、看護師が毎日、朝と夕方、各クラスをまわり、子どもたちの健康状態を把握しています。0～2歳児クラスは各自の連絡帳で、園と家庭での体調や食事、排せつの状況など相互に確認しています。
- ② 健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施しています。結果は児童票に記録し、保護者にはその日のうちに看護師が「健康診断結果のお知らせ」に記載して知らせています。予防接種については、年に2回「予防接種表」を保護者に渡し、記入後返却をしてもらっています。
- ③ その日の子どもの体調など担任から伝えられない場合も「健康観察記録」で確実に申し送っています。気になる子どもについては朝礼や夕礼で伝達しています。
- ④ 「感染症マニュアル」があり、おもな症状や登園の基準については「入園のしおり」の別紙を用意して、入園説明会で保護者に周知しています。感染症発生時には速やかに園内に掲示し、情報提供しています。最新情報は青葉区よりファクスが届き、全職員は情報を共有しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 衛生管理のマニュアルがあり、入職時に説明を受けるとともに、必要に応じて職員会議でマニュアルの必要部分を抜粋して話し合っています。マニュアルは年度末には職員で読み合わせを行い共有しています。
- ② 職員がローテーションでクリーンチェック表に基づいて清掃しており、園内外は清潔な状態が保たれています。玩具について乳児クラスは毎日消毒しています。園庭の砂場を使用しないときはシートをかけています。
- ③ 嘔吐物処理セットを常置し、マニュアルに沿って処理ができるようにしています。非常勤職員も含めて全職員を対象に嘔吐の処理について園内研修を実施しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 法人本部が作成したグローバルキッズ保育マニュアルには、「安全管理の手引き」「危機管理」などの項目があり、全職員に配付されており、全職員が共通の認識を持って対応できるようにしています。常に確認できるようになっています。地震等に備え、保護者の引き取り訓練や「すぐメール」などの発信訓練などを行い保護者との協力にも力を入れています。
- ② 緊急連絡体制が確立されており、事務室に救急機関、地域の消防、警察、行政機関等連絡先を一覧表にして掲示しています。年間計画に基づき、毎月様々な設定で避難訓練を行っています。職員が救命救急法の研修を受講しています。今後も順次受講していく予定です。
- ③ ケガについては軽傷な場合であっても必ず保護者に説明しています。職員は出勤すると子どもたちの前日の様子を連絡ノートなどで確認し、クラス以外の子どもの状況も確認しています。ヒアリハットや事故については職員会議で話し合い・検討をして再発防止・改善につなげています。
- ④ 園は機械警備を取り入れています。入り口は施錠し、保護者は各自 IC カードにてオートロック式門扉を開錠しています。また不審者対応訓練などでは短頭と園長以外には職員に知らせずに実施し、合言葉を決め迅速に行動できるようにしています。
- ⑤ 不審者や防犯の情報は青葉区よりファクスが届きます。保護者からも随時情報が入り、職員にその都度周知しています。

## II-3 人権の尊重



- ① 園では「グローバル保育マニュアル」を活用し、職員が子どもの尊厳を守るように徹底しています。また、万が一、園長や他の保育士が子どもに対して言葉遣いなどの問題に気付けば、園長がアドバイスをすることもあります。また職員間でも気軽に言い合える雰囲気づくりに努めています。職員は、子どもに分かりやすいようにゆっくりと穏やかに話しています。また、こどもの間でトラブルが発生すると、職員が双方の話を聞いて子ども同士で解決できるように対応しています。
- ② 園内には 2 階ホールの窓際や事務室横、階段下など子どもが友だちや職員の視線を気にせずに過ごせるコーナーがあります。子どもと職員が一对一で話をする必要がある場合は、空いている部屋で子どもに威圧感を与えることなく話し合っています。また、必要に応じて基地と呼んでいる階段下のコーナーをプライバシー確保の部屋として活用しています。
- ③ 入園時に保護者から承諾書をもらい、個人情報が含まれるお知らせを案内したり、子どもたちの活動を撮影した写真を園内で掲示したり「園だより」へ掲載しています。
- ④ 個人情報の書類は、施錠できる書庫に保管するとともに、机の上の書類は伏せています。また、子どもたちの制作物に名前を記載するさいも、「さん」付けに統一しています。遊びなどのグループ分けや順番も性差で分けることはありません。

## II-4 保護者との交流・連携



- ① 個々の保護者との日常的な情報交換について、2 歳児クラスまではグローバルキッズあざみ野園の個別連絡ノートを使用し、3 歳児クラス以上は各保護者の選んだ自由な連絡ノートがあります。
- ② 3 歳児から 5 歳児は玄関にホワイトボードを掲示して活動の様子を伝えているほか、担任が口頭でもその日のエピソードなど伝えるようにしています。園だより・クラスだよりを毎月発行し、情報提供をしています。

- ③ 保護者との個人面談は年に2回実施していますが、希望により随時対応しています。クラス懇談会は年に2回開催しています。子どもたちの日ごろの様子は園内のスライドショーでお知らせしています。保護者会でも同様に見てもらっています。保護者会に欠席された方には当日のレジュメを配り担任が日程調整をして説明しています。

## Ⅲ 地域支援機能

### Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 一時保育や他園保育士との交流や研修に参加し、地域の施設に対する要望は把握するも、育児相談までは手が回っていません。青葉区の子ども家庭支援相談、ネットワーク通信などと連携し地域サービスに対応しています。
- ② 園庭開放、一時保育、交流保育を積極的に推進しています。青葉区の「なしかちゃん広場」で子育て支援もしています。園行事へのお誘いをポスターなどで知らせています。なお、地域住民向けの園外掲示板は設けてありません。老人福祉施設との交流をはじめました。福祉専門学校や大学からの実習生を本部経由で受け入れ次世代の人材育成に努めています。一方で中学校に職業体験学習生の受け入れは可能である旨を伝えてあるも未だ希望者がでておりません。

### Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 園の情報は、市区のホームページやパンフレット、園行事のお知らせをしています。園長は積極的に広報し世間の認知度を上げようとしています。地域の方からの相談には受け身の体制になっており、相談体制の整備は今後の課題となっています。
- ② 見学者が一時大勢押しかけ、園児への悪影響や対応の難しさなどを勘案して日時を決めて集合見学に切り替えましたが必要に応じて個別、柔軟に対応することもあります。
- ③ 行政機関、社会福祉施設、医療機関、子ども家庭支援相談、学校、英語教師、ボランティアなどとの連絡会を大切にして実施しています。

## IV 開かれた運営

### IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 保育園の行事に、卒園児や一時保育の親子、老人福祉施設の方々を招待しています。保護者の方からピアノ演奏や習字の指導のボランティアを受けています。園庭開放や他の園との交流を盛んに進め保育園の理解を深める取り組みを行っています。卒園児が友達と待ち合わせて迷子になり保育園に助けを求め事なきを得た例もあります。
- ② 地区の図書館を頻繁に利用しています。青葉区のイベントなしかちゃん広場などへの参加、他園との交流、ネットワーク通信など地域との日常的に子どもの生活の充実と地域の理解を深める努力をしています。

### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 保育園のパンフレット、広報誌やホームページで園の情報を発信しています。また青葉区のパネル展に参加するなど将来の利用者が関心のある事項についてわかりや情報の提供に努めています。
- ② 園児への悪影響を避ける目的で保育園の見学の日を定めていますが、園長を窓口にして保護者の都合に合わせるなどの柔軟な対応もしています。見学者には質問や相談に応じる懇切丁寧に説明をし、見学者が理解するようにしています。また、入園前個人面談を行い希望や要望の把握に努めています。

### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① 実習生の受け入れマニュアルを備え本部経由で実習生の受け入れをしています。実習生からは何を学びたいか事前に伺い計画を立て、オリエンテーションで守秘義務などの注意事項を伝達の上で実習をお願いしています。その結果実習生からこの園が気に入って貰い入社を決めた例もあり、このように福祉人材の育成に努力しています。
- ② ボランティアの受け入れは、マニュアルを作成して実施しています。保護者の中からピアノ演奏や習字の指導をボランティアとしてお願いしています。ボランティアの受け入れ結果の記録は整備されていません。ボランティアの感想や意見を聞き、園運営に反映し、ボランティア育成に至ってはいません。

## V 人材育成・援助技術の向上

### V-1 職員の人材育成



- ① 目標管理制度を採用しています。職員は年度目標に対し2ヶ月ごとに振り返り月報を提出しています。年に2回の人事考課があり園長とフィードバック面談でアドバイスや指導を受けています。所内研修や外部研修で職員のスキルアップを図っています。階層別研修を本部で企画し該当者に研修を受けさせる仕組みになっています。幼児組は縦割り研修でアートを取り入れ、月に1回系列の保育園で研修を受けています。
- ② 非常勤職員にも保育士を受験するためにサポート体制を整えています。内部研修で看護師から感染症予防や嘔吐処理の研修を定期的を受けています。職員は担当があるものの園全体で園児を観て保育する仕組みで運営しています。非常勤職員にも正規職員と同じ働き方を要求し園長とパート会議を年に10回ほど開催し働きやすさ、困っていることの相談を受けています。その内容は職員会議で共有を図っています。

### V-2 職員の技術の向上



- ① 職員は目標管理制度の月報で自己評価反省をし、今後の目標を定めています。運動会などの行事の後の保護者アンケートを参考に改善点を職員会議で話し合い更なる福祉サービスの質の向上を目指しています。
- ② 月案に反省と評価の欄があり目標に向かって、どのように子どもたちに働きかけるか各クラスの発達段階を踏まえた話し合いをして、次月の月案に反映させています。園としての自己評価表を配布し個々に記入してもらい集計結果を職員会議で良い点、改善点を洗い出し、良いところをさらに伸ばし、課題を克服するために全職員で努力しています。

### V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 職員は年に数回の園長との個人面談で、また公私ともに困った時には随時に園長に相談しています。目標管理制度により年度ごとの職員の目標が明確になっています。職員同士で得意分野を共有するように話し合い、また職員間でバランス調整をしています。
- ② 職員を支援する住宅補助制度を使い、職員に5年間の補助が受けられることを伝え、働きやすい環境を支援しています。産業カウンセラーの巡回は在りませんが職員は、契約している電話ホットラインを使つての相談が可能となっています。

## VI 経営管理

### VI-1 経営における社会的責任



- ① 「グローバルキッズ保育の指針」に行動指針、社員の心得が明記してあります。初任者研修や園内研修で振り返るなど事業者として守るべき法、規範、倫理等を周知し実勢しています。就業規則は職員が何時でも見られるよう休憩室に保管してあります。園長会議の内容は職員会議で報告し共有しています。
- ② 清潔な環境を目指しクリーンチェック表を用い環境の美化に努めています。保護者から牛乳パックや空箱、トイレトペーパーの芯などの廃材を活用してリサイクルを図っています。消灯などこまめに実施して省エネルギーに努めています。

### VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 理念および基本方針に則り、保育課程を作成し、年間指導計画、年間予定表、月案、週案に展開しています。全職員には職員会議、朝礼、夕礼で周知徹底を図っています。月初には乳児会議、幼児会議において、理念および基本方針を確認し合っています。園長は組織図、分担表を作成して公表し園をリードしています。
- ② 年間指導計画などの策定にあたっては、運営委員会や行事後のアンケート、職員などからの意向を反映して作成しています。

### VI-3 効率的な運営



- ① 事業運営に必要な情報収集や分析を運営法人が行っています。毎月に法人内で園長会議、エリア会議、給食会議、看護師会などを開催し、園からはそれぞれの担当が参加して情報を得ています。園では職員会議などで情報を伝え、話し合い職員で共有しています。
- ② 運営法人では中長期的な計画を策定して、園に周知しています。園ではこれを受けて年間計画を立案し、職員に周知し実践遂行にあたっています。

## 利用者本人調査

### 調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス：6名	1歳児クラス：10名	2歳児クラス：11名
3歳児クラス：11名	4歳児クラス：7名	5歳児クラス：10名

### 調査概要

#### 《0歳児クラス》

朝は、0歳児は保育室で自由に、思い思い好きなおもちゃで遊んでいました。箱の中からブロックを出したり入れたり、絵本を膝に乗せ電車を指さして声を出していたり、夢中になって遊んでいます。

その後、園庭遊びに行きました。給食前に戻ってくると、玄関でそれぞれ靴を脱ぎ、靴下を脱ぎ上着も脱いでしまいます。もうそれぞれに子どもは自分でできます。遅い子どもも早い子どもも頑張っています。

保育士はできた子どもには「すごいね。上手にできたね」と声をかけています。最後に靴下を入れたケースと帽子のケースを「～ちゃんもっていってくれる？」と子どもに声をかけると「いいよ～」と嬉しそうに返事をして、玄関から保育士と一緒に保育室に持って帰ります。

子どもたちは順番に保育室に戻る途中で、子どもたちが基地と呼んでいる階段下の空間に立ち寄っていきました。そこにはおままごとのセットなどがあり楽しい空間になっています。

給食の時間では、子どもはおいしそうにスプーンを使って食べています。途中眠くなってしまうようで泣き出した子どももいます。

ごちそうさまをした子どもからお口を拭き、着替えをして午睡の準備です。泣き出した子どもは、イスに座ったまま泣き止みませんので保育士がお相手をします。保育士に抱いてもらったとたん泣き止み、抱かれているうちにうとうと寝てしまいました。子どもと保育士との愛着関係ができていることが伺われます。

## 《1 歳児クラス》

朝の会が終わったところ、子どもたちは自由に遊んでいました。絵本を持ってきた子どもに対しては、保育士が本の読みきかせをしています。自動車の絵を指さしながら、「青い自動車だね。乗ったことあるかな?」「何色の自動車が好き?」などと話しながら読み聞かせています。

給食の時間が来ました。まず子どもたちには、トイレタイムです。子どもは自然にトイレ、手洗いと習慣が出来ており、それぞれテーブルにつきます。保育士は「テーブルの上を拭くのでお手てをお膝にして、おへそとテーブルを仲良しさんにしておこうね」と話し、子どもは「はい」と待っています。保育士は「～ちゃんの姿勢、かっこいいね」とほめながらテーブルを拭いていきます。

準備ができると、皆で「いただきます」をして食べ始めました。サラダの中のレーズンを上手につまんで「これおいしい」と子どもたちが話します。他の子どもは「嫌い!」と言って、つまんで出している子どももいますが、保育士は「甘くておいしいよ」と勧めています。

## 《2 歳児クラス》

今日は近くの散歩に行き公園で遊びます。まず子どもたちは帽子をかぶり、玄関で靴下を履いて準備をします。一人一人それぞれのペースでゆっくりと支度をしています。早い子どもは、どんどん出来て「先生、できたよ～」と自慢そうに報告しています。保育士は丁寧に「～ちゃん上手だね」とにっこり笑顔で答えて、少し遅い子どもには「あれ～、～ちゃんの靴下はどこ?」と声をかけています。すると声をかけられた子どもは、嬉しそうに「先生、これだよ～」と見せています。そして次は靴を履きます。早く遊びたい子どもが自分で頑張って靴を履いています。それにつられて他の子どももどんどん自分で履いています。

準備が出来たら出発です。「行ってきます」と元気に言って、手をつなぎ歩き出しました。すぐ近くの公園で、元気いっぱい走り回ります。保育士は、子どもの様子を見守りながら、一緒に会話をし、子どもが十分楽しんで遊べるように配慮していました。

公園遊びの次は食事です。皆順番にトイレ、手洗と一人一人その子どものペースで行っています。保育士の指示がなくても、自分で動いています。配膳が終わると皆で給食の歌を歌い「いただきます」をして食べ始めました。

食事中では、お友達と「昨日ママがね～」と話をしています。保育士が「この野菜おいしいね」と言うと、子どもすすんで口に運んでいます。食べ終わると、保育士に「すごい、ピッカピカ」とほめると、子どもは嬉しそうににっこりして満足そうです。

ごちそうさまをすると、今度は椅子に座って歯磨きを始めます。子どもは保育士に「お仕上げしてください」と声をかけて、仕上げ磨きをしてもらっています。

次は着替えです。一人一人自分で着替えをしてきれいにたたみます。保育士が「～ちゃん、上手にたためたね」と言い、子どもは「昨日パパのもたたんであげたよ」と保育士に話をしていました。着替えが終わると好きな本を読み始めます。この流れは0歳児から変わらないとのことスムーズに進んでいます。

### 《3 歳児クラス》

縦割り保育でグループごとに、おみせやさんごっこアイスクリーム屋さんをしています。一個は百円、ダブルが二百円です。楽しそうに売り手と買い手に分かれて楽しんでおり、しばらくして売り切れ完売となりました。みんな嬉しそうにしています。3 歳児は 4 歳児のおもちゃ屋さんや 5 歳児がやっている八百屋さんに行き買い物をして、上級生を見習っています。

昼食時は二つのチームに分かれてそれぞれの当番が、食器やフォークなどを配っています。全員に行き渡ったら、両手を合わせて当番の合図で「いただきます」と言って食べ始めます。保育士は「何でも食べましょう よく噛んで」と話しています。食事が早い子、遅い子様々です。野菜やスパゲティ、バナナのおかわりしている子どももいます。

食べ終わった子どもから、食器類を運搬トレーに戻して、歯ブラシを始めました。上手に磨ける子ども、保育士に助けってもらいながらの子ども様々ですが歯磨きが終わると、テーブルを片付けて、ベッドを運び込み全員が静かに午睡に入っています。

### 《4 歳児クラス》

4 歳児は 5 歳児と途中まで一緒に散歩しました。2 列に並んで保育士の指示により道路の左側の歩道を歩き、車が通る時には静止して動かないでいます。道路を横断する時には、保育士が前後左右を確認して OK の合図で速やかに渡っています。

あざみ野南三百久保公園に着いたら、手や足、体の柔軟体操をした後に一人ずつ鉄棒に飛びついて前方回転をしています。上手く飛びつけず保育士にアシストしてもらう子ども、上手に飛びつく子ども様々です。その後さらに遠い公園に行き 5 歳児と一緒に戻ってきました。

おみせやさんごっこでは、4 歳児はおもちゃ屋さんをしています。おさんぽワンちゃん、けん玉、でんしゃなどを売っています。盛んに売り声を出してお客を呼び込んでいます。また、4 歳児はお客さんとして、3 歳児のアイスクリーム屋、5 歳児の八百屋を回り買い物を楽しんでいます。

### 《5 歳児クラス》

散歩は 4 歳児と一緒にあざみ野南三百久保公園に行きました。4 歳児と別れて、5 歳児はまず足腰の柔軟体操をします。ビニールの紐をピンと張り紐の両端を持って、その上からペットボトルの水でドッジボールのコートを描きます。

近くにある別の保育園の子どもが到着しました。来週の大会に合同チームで臨む予定ですので、対抗戦を行いました。上手く逃げ回ってボールをよける子ども、上手くボールをキャッチし相手に攻撃する子どもなど様々です。コートチェンジをして同様に繰り返します。

成績は人数の多かった他園が勝ちましたが、人数の違いで実際は引き分けになりました。合同でチームを作るため、園児を半分ずつ入れ替えて同様に練習を続けます。他の園児が帰った後も練習を続けるうちに上達することができました。

別れた 4 歳児が戻ってきたので、一緒に園に帰ります。往きと同様に交通ルールを守り整列して静かに歩いて行きます。途中保育士が小枝に白いものを見つけ、子どもたちに、それが何かを尋ねながら散歩します。

昼食時になると、グループごとに分かれて、みんなはおとなしく座っています。当番はエプロンを掛けてネックチーフを被って、食器や箸を配っています。ご飯やみそ汁、おかず、デザートなど全員に配りをえたら当番の合図で「いただきます」と言って食べ始めます。

食べるペースが早い子ども、遅い子どもそれぞれです。鳥の照り焼きや野菜のお変わり保育士から貰う子どもも多く、全員が完食しました。「ごちそうさまでした」の挨拶をして、食器の片づけをしています。その後に、順番に並んで、上手に歯ブラシをしています。

おみせやさんごっこでは5歳児は八百屋さんをしています。ジャガイモ、にんじん、だいこん、楽しそうなやり取りの後、売り切れ完売などの声がきこえます。またお客さんとして、3歳児のアイスクリーム屋、4歳児のおもちゃ屋を回り、楽しく買い物をしています。

5歳児は就学に向けて、午睡の時間をなくし、友達をモデルにクレヨンでスケッチしています。保育士の話をよく聴いて、スケッチのポイントを学んでいます。保育士の真似をするのではなく、友だちをよく見て特徴を捉えるように指導しています。用紙にバランスよく収める子ども、小さく書いて余白の多い子ども、描くのが早い子ども、遅い子ども様々ですが、上手に特徴を把握しているようです。

## 家族アンケート結果

### アンケートの概要

#### 1. 調査対象

利用者の全家族

#### 2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

#### 3. アンケート発送数等

発送数：	46 通	返送数：	29 通	回収率：	63%
クラス：	0歳児： 4 通	1歳児：	9 通	2歳児：	6 通
	3歳児： 7 通	4歳児：	1 通	5歳児：	2 通

#### 4. 全体をとおして

利用者の全家族（46通）にアンケートを配り、61%の家族から回答を得ました。

アンケートの回答者からの「保育園を総合的に評価した満足度」では、「満足」が57%で、「どちらかといえば満足」を含めると93%の保護者が満足している状況です。

「満足」が高い項目では、職員の対応で「お子さんが大切にされている」が「満足」が86%となっています。その他に「給食の献立内容」についても「満足」が82%を占めています。これらは「どちらかといえば満足」を含めると共に96%となり、保護者が満足している様子が伺えます。その反面で「満足」が低い項目は入園時の「園の目標や方針についての説明」14%、「年間の保育や行事についての説明」18%となっています。

「不満」の多い項目では、「子どもが戸外遊びを十分している」14%、「送り迎えの際の、お子さんの様子に関する情報交換」11%の「不満」回答となっています。

アンケートの自由記入欄には、「安心してあずけられる」「温かく見守ってくれる」「愛情をもって接してくれる」などの感謝の言葉が多く寄せられています。その一方で「お泊り保育」保護者参加行事など要望や「戸外遊び」「散歩」を増やしてほしいとの声もあります。

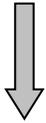
「あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか」の質問には「よく知っている」との回答は14%です。「まあ知っている」を含めた61%の回答者全員が、「その目標・方針に賛同できる」と答えています。入園時の説明についても「満足」は高くありませんが、目標・方針を知っている人はそれに賛同しています。保育園の改善は保護者と職員及び関係者が協力して行うものですので、賛同して協力していただけるように説明の工夫が期待されます。

□ アンケート結果

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない



1	2	3	4	5	無回答
13.8%	44.8%	17.2%	17.2%	3.4%	3.4%

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

1	2	3	4	5	無回答
58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	27.6%	27.6%	6.9%	3.4%	34.5%	0.0%
その他: 新設だったので外観しかみれなかった、見学していない、						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	37.9%	20.7%	20.7%	3.4%	17.2%	0.0%
その他:						
園の目標や方針についての説明には	13.8%	58.6%	10.3%	3.4%	13.8%	0.0%
その他: 覚えていない						
お子さんの生育歴などを聞く対応には	24.1%	44.8%	17.2%	3.4%	10.3%	0.0%
その他: 覚えていない						
保育園での一日の過ごし方についての説明は	24.1%	62.1%	3.4%	6.9%	3.4%	0.0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなどもも含め、費用やきまりに関する説明については	27.6%	37.9%	24.1%	0.0%	10.3%	0.0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	17.2%	55.2%	17.2%	10.3%	0.0%	0.0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	20.7%	58.6%	3.4%	10.3%	6.9%	0.0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	58.6%	24.1%	10.3%	6.9%	0.0%	0.0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	37.9%	37.9%	10.3%	13.8%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	44.8%	41.4%	10.3%	0.0%	3.4%	0.0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	34.5%	41.4%	13.8%	3.4%	6.9%	0.0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	58.6%	31.0%	6.9%	3.4%	0.0%	0.0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	44.8%	31.0%	17.2%	3.4%	3.4%	0.0%
	その他:そういった取り組みをしているのか不明					

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	79.3%	17.2%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	62.1%	31.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	55.2%	34.5%	6.9%	0.0%	3.4%	0.0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	55.2%	20.7%	10.3%	0.0%	13.8%	0.0%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	72.4%	24.1%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	65.5%	24.1%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	51.7%	37.9%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	65.5%	31.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	34.5%	34.5%	20.7%	6.9%	3.4%	0.0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	41.4%	31.0%	24.1%	3.4%	0.0%	0.0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	37.9%	34.5%	17.2%	6.9%	3.4%	0.0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	41.4%	34.5%	13.8%	6.9%	3.4%	0.0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	51.7%	31.0%	13.8%	0.0%	3.4%	0.0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	37.9%	34.5%	13.8%	13.8%	0.0%	0.0%
	その他:不満ではないが、不安はある。					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.4%	48.3%	3.4%	3.4%	3.4%	0.0%
	その他:したことがない					
保護者からの相談事への対応には	41.4%	41.4%	6.9%	3.4%	6.9%	0.0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	69.0%	24.1%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%
	その他:したことがない					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	82.8%	10.3%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	72.4%	20.7%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	48.3%	20.7%	0.0%	0.0%	31.0%	0.0%
	その他:わからない					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	62.1%	27.6%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
意見や要望への対応については	48.3%	34.5%	6.9%	10.3%	0.0%	0.0%
	その他:					

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	55.2%	34.5%	10.3%	0.0%	0.0%

## 事業者コメント

---

事業者名 グローバルキッズ あざみ野園

第三者評価では関係者の皆様にご協力頂き、ありがとうございました。

私たちが行っている保育を優しく、微笑みながらご覧になって良かったところなど、評価して頂き、職員もいつもの保育が出来たようです。

開園して初めての第三者評価でしたので、緊張していたのですが、評価を受け色々な気づきがありました。より良い保育をして行く為に改善点について相談すると、丁寧にアドバイスを頂き、それをもとに職員と話しあう事が出来ました。今後、地域の子育て支援にも今まで以上に取り組んで行きたいと思います。

保護者の皆様にはアンケートのご協力ありがとうございました。保護者様のお気持ちを知る良い機会が有りました。出来るところからお気持ちに添える様努力し、安心してお子様を預けて頂けるよう、前進して行きたいと思います。

ありがとうございました。



株式会社フィールズ

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4F

TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323